

宇都宮商業會議所月報

第九拾六號

稟告

一 商工業の進歩發達を促すべき事實又は法律命令
其他商業の發達を阻害する事情あらは速に其狀
況并に之に對する御意見等御一報あらんことを
望む

一 商工業に關し獎勵すべき習慣若くは矯正すべき
弊習等御認めの場合には細大となく御報知あらん
ことを望む

一 地區内商工業組合の組織に關しては當所は出來
得る限り斡旋盡力すへし若し之れか組織の必要
を認められたる場合は申出られたし

一 地區内商工業組合にして總會又は役員會々場
に充つる爲め會議室の使用を望まると向に對して
は無料にて貸與し且つ當所の事務に支障を來さ
ざる限り其事務をも補助すへし

一 地區内商工業者各位にして商工業に關する事項
に付諸官廳其他に對し本會議所の照會又は紹介
を得んことを望まるとる場合は遠慮なく申出られ
たし

一 本會議所は商工業者各位の時々來所高見を演進
調査研究の資料を供給せらるゝを切望す

一 本會議所には官報、通商彙纂、商標公報、特許
公報、實用新案公報、山林公報、各地商業會議
所報告書其他商工業に關する各種統計及諸般の
有益なる圖書備付あり商工業者各位の隨時來所
閱覽あらんことを望む

宇都宮商業會議所



合名 安田銀行
會社 宇都宮支店
(電話百五十番)

一、資本金 五百萬圓
一、積立金 三百三十餘萬圓
一、諸預金 三千三百九十餘萬圓
宇都宮市大工町四十八番地

一、本店所在地 日本橋區小舟町三丁目九番地
一、支店出張所 武拾壹ヶ所
一、各地送金 無手数料

弊館撮影の眞寫は 畏くも再度 天の光榮を賜ふ

一北東はるせ全完の械器
目丁壹町旭市宮都宇

三光寫眞館
店眞寫
番二二三話電
吾源縣山主館

行發回一月毎
定價部金參錢
郵稅部金五厘
廣告料廿二字詰
一行金十錢〇特
別廣告ハ三割増
約ハ一行金八錢

發行兼編輯人 荒川義典
印刷所 宇都宮市旭町二丁目
宇都宮商業會議所
電話二二五五
印刷所 宇都宮一保町七番地
電話三六五

圓万百貳金本資



株式 下野銀行
會社

東京支店 東京市日本橋區橫山町二丁目
電話二八一〇番
日光支店 下野國日光町 電話二〇〇番
下野國宇都宮市大工町
株式 下野銀行
會社
眞岡支店 下野國眞岡町 電話二二三番
新石町支店 宇都宮市新石町 電話三四〇番



株式 宇都宮銀行
會社

材木町支店 宇都宮市材木町 電話四五〇番
足尾支店 下野國足尾町 電話一二二番
足尾出張所 下野國足尾町 電話八八番

諸貸附、割引、爲替、荷爲替、代金取立
總テ精々御便利ニ取扱可申候

商業道德に就て

淺澤男爵講演大要抄録

支那の言葉に「仁あれば富ます富めば仁ならず」といふことがある。之れはアリストートルが總ての商業は罪を帯びて言つたのと能く似て居る。併し...

でございませう。之れは宋朝學者が富めば仁ならず仁を爲せば富ます...

養澤風呂の數々

米國の石油王ロックフェラーは近頃「ウエスキー」流といふ變な癖を持つてゐる。其の由來を尋ねて見れば...

識を以て理解し得ることである。孔子の教を引合に出さぬでも言ふことが皆眞正であり行ふことが皆誠實であり...

立國論

農業 乎 商業 乎

雜誌中央公論に「立國論」といふ題下に二十餘の議論を掲げた。右左に其二三を紹介する。

農業立國といふことは決して我國のみに特有の現象ではない。經濟上の發達低き時代に在ては今日の文明國は皆一度は農業を以て立國の大体として居たものである...

臺灣生蕃の話

島居龍藏君講演

臺灣の北部に居るタイヤル族は同じ地方に居るセランカ族に比して其性質から風俗から、よほど異つて居る...

男女ともに顔に入墨をする。入墨のことはカパンと稱して居る男は前額に方形に一個所から三ヶ所所である。女はバクムと言つて前額に兩額から唇にかけて入墨をする...

臨時總會議事録

明治四十四年四月四日午後三時二十分臨時總會ヲ本會議所内ニ於テ開會午後六時閉會ス議員ノ出席及議事ノ要領左ノ如シ

出席ノ部

- 吉田源吉郎 今井佐吉 黒川徳藏 篠崎安平 相場直三郎 峯岸福三郎 松本宗太郎 渡邊長吉 上野松次郎 久我彌平 奥津喜平 齋藤太兵衛 横倉正吉 石田常造 木村作次郎 田中千代吉 青木芳三郎 福田恒吉 清水清藏 河合長藏 古口勇次郎 村山常兵衛 田中利三郎 青木仁平 田中金平 福田富次郎 田村峯吉 田中勝次郎 新部幸吉 大橋東太

欠席ノ部

- 伊澤清三郎 大野七兵衛 古泉徳次郎 坂本八郎 大島三千

一、役員選舉ノ件

上野會頭 開會ヲ宣シ議員ノ出席三十名缺席五名ナル旨ヲ報告シ是ヨリ役員選舉ヲ行フニ付テハ定款四十條ニ據リ議長ヲ選舉セラレタキ旨ヲ告

三十二番(田中勝次郎君) 議長ハ前會頭上野君ニ御苦勞ヲ願ヘタシ

賛成ト呼ブ者アリ

滿場異議ナク田中君ノ提議ニ決ス

議長(上野松次郎君) 會頭選舉ヲ行フ旨ヲ告

三番(吉田源吉郎君) 前例ニヨリ會頭選舉ハ投票ヲ用キズ滿場一致ヲ以テ前任會頭上野松次郎君ヲ推選シテ諸君御賛成アラント

賛成ト呼ブ者アリ

是ニ於テ滿場異議ナク前任會頭上野松次郎君ヲ再選ト決シ全氏ヨリ就任挨拶ヲ爲ス

議長 副會頭二名ノ選舉ヲ行フ旨ヲ告

二十九番(村山金平君) 副會頭ノ選舉モ會頭同様

投票ヲ畧シ滿場一致ヲ以テ前任者タル田中勝次郎、齋藤太兵衛ノ兩君ヲ再選シタシ

十番(渡邊長吉君) 二十九番ニ賛成

六番(篠崎安平君) 二十九番ニ賛成

議長 廿九番ノ發議ニ基キ前任副會頭田中勝次郎、齋藤太兵衛ノ兩名ヲ再選スルニ異議ナキヤ

異議ナシト呼ブ者アリ

議長 異議ナシト認ム

(是ニ於テ滿場異議ナク田中勝次郎、齋藤太兵衛ノ兩氏再選ニ決シ兩氏ヨリ就任挨拶ヲ爲ス)

議長 常議員九名ノ選舉ヲ行フ旨ヲ告

ヲ配布ス開票ノ結果左ノ如シ

- 二十八番 吉田源吉郎 二十四票 篠崎安平 二十四票 河合長藏 二十三票 黒川徳藏 二十三票 村山金平 二十二票 福田富次郎 二十票 相場直三郎 二十票 横倉正吉 十四票 青木仁平 十票 石田常造

(以下略)

(定款第三十條第二項ニ據リ青木仁平石田常造兩氏ノ決選投票ヲ行ヒ其結果石田常造君十八票青木仁平君十一票ニテ石田常造君當選ニ決ス

右當選者定マルヤ篠崎安平君常議員當選者ニ謀リ高票者吉田源吉郎君總代トシテ就任挨拶ヲ爲

二、特別議員選舉ノ件

議長 特別議員ノ選舉ヲ行フニ付テハ定款第五條ニ據リ其員數ヲ定ムルノ要アルカ願ハクハ七名ヲ置クコト、致シタシ

賛成ト呼ブ者アリ

議長 特別議員ヲ七名置クニ異議ナキヤ

異議ナシト呼ブ者アリ

議長 異議ナシト認ム就テハ七名ヲ聯配無記名投票ニテ選舉セラレタシ

二十九番(福田富次郎君) 投票ヲ畧シ議長指君ニ願

賛成ト呼ブ者アリ

議長 三十番ノ發議ニヨリ議長ニ於テ指名スルニ異議ナキヤ

異議ナシト呼ブ者アリ

議長 異議ナシト認ム

(是ニ於テ議長ハ左ノ七名ヲ指名セリ

瀧澤喜平治 本多 録吉

矢島 中 石田仁太郎

行森 龍太 矢板 武

手塚五郎平

三、京城ニ開會スル商業會議所聯合會出席員選定ノ件

議長 本月廿五日朝鮮京城ニ於テ開會スル商業會議所聯合會へ出席スル代表員ヲ選任相成タシ尤モ其員數ハ代表者二名有志會員若クハ事務員ノ内一名都合三名ナリ

三十二番(田中勝次郎君) 出席員ニ旅費ヲ支給スル豫定ニモアラザレバ本件ハ之ヲ決定スルコト甚ク難シ願ハクハ會頭ニ於テ可然決定セラレンコトヲ望ム

議長 三十二番ノ御意見ノ如ク本件ハ最初ヨリ出席者ニ旅費ヲ支給スルノ豫算ヲ立テタル次第ニアラザレバ何人ヲ選任スルモ出席ヲ強ユル能ハズ就テハ希望者中ヨリ選定スルノ條件ニテ議長ニ指名方ヲ一任セラレタシ

異議ナシト呼ブ者アリ

是ニ於テ本件ハ議長指名ヲ以テ決定スルコトニ決ス

四、議員ノ部屬ヲ定ムルノ件

七番(相場直三郎君) 建議シテ曰ク本會議所ニハ商業部工業部庶務部會計部アリ而シテ各部長アリナガラ部員ナキハ變体ナリ依テ各議員ヲ各部ニ配置スルコト、致シタシ

九、不動產登錄稅ニ關スル件

議長(上野松次郎君) 本會ヲ閉會セントスルニ望ミ本員モノノ希望ヲ提出ス近年登記所ニ於テ不動產ノ登錄ヲ爲スニ當リ登錄稅ニ徵收スルニ其價格ヲ定ムルニ實際ト逕庭殊ニ甚タシキモノアリ就テハ之レカ其價格ヲ査定スルニ相當方法ヲ講究アラント望ム云々

金儲心得三十條

時は金なり一分一秒も空過すべからず流行の衣服を着ることを買はば身代限の先觸なり信義を固くせざれば水く家産を保つべからず富貴萬萬を重ねるも一圓の身代の時を忘るべからず無益の事に決して財源の口を開くべからず家産は一厘一毛も忽忽するより破るも

のさ知れぬ香箱家と譲らるるを恐れて無益の場合に金を費す勿れ馬車に乗らるる身代ならば人力車に乗れ遊興を勤むる人ならば決して實際すべからず望みを待たり

さて喜ぶべからず已れの癖を死にし日れの好む所を後にすべし富みたりとも妻なご苦ふべからず災は

総て酒さ色さより来る金も貸す勿れ已むを得ざれば之を與

れ山師まは一圓の金も貸す勿れ已むを得ざれば之を與

へし利得を思はんよりは利得を看くべし眞實は之

を到底も磨らすべからず常々之を運轉すべし家産は預

物さなし已れの物と思ふ勿れ浪費せしむりの如く家産

自身を磨滅するもの也酒食の友を近くべからず賞牌

は得難く身代限の牌は賜り易し如何に廉なりとも無用

の品は高價のものなり玩弄物は金を失ひ又志を失ふ本

なり金儲を誇るの心を生むるは金も失ひ人なり

時なり破産は台所の隅より起る金儲は他人より金

儲き女房とは人に貸す勿れ破産を遺さず熱を忘るる

は始めの困苦再び来る禍なきを願ふ處れば是も禍な

かるべし

十番(渡邊長吉君) 七番ニ賛成

三十四番(大橋東太君) 七番ニ賛成

十四番(齋藤太兵衛君) 他ノ會議所ニ斯カル例アリカ

議長 七番ノ如キ考モアリタルヲ以テ書記長ヲシテ調査セシメタルニ議員ノ部屬ヲ定メタル例モ

少ナカラザレトモ之ヲ定ムルニ付テハ部ノ區分

其他ニ尙ホ考究スベキ点モアリ且役員モ選舉ヲ

終リタルノミニ認可ヲ經タルニモアラネバ研

究ノ上決定スルコト、シ役員會ニ一任セラレタ

シ

九番(松本宗太郎君) 議長ノ意見ニ賛成

三番(吉田源吉郎君) 研究ノ上部屬ヲ定ムルトイフニハ賛成ナリ然レハ考究セラレント望ム

議長 役員會ニ於テ取調ノ上決定スルニ異議ナキヤ

異議ナシト呼ブ者アリ

議長 異議ナシト認ム就テハ充分ニ研究スルコト

五、振替貯金并三等郵便局代金取立ニ關スル件

七番(相場直三郎君) 現行振替貯金規則ニ於テ拂込人ヨリ手数料ヲ徵收セラル、ハ振替貯金制ヲ普及セシムルニ頗ル不利ナリ就テハ之ヲ全廢セラレタク又三等郵便局ニ於テ盡ク代金取立ヲ扱ハザルハ甚ダ不便ナルヲ以テ此ノ二件ヲ本會議所ノ問題トシテ當局ニ建議セラレント望ム

三十二番(田中勝次郎君) 振替貯金ノ手数料ノ件ニ付テハ昨年四月名古屋ニ於テ開會セル聯合會ノ際問題トナリ既ニ當局ニ建議スル所アリタルモ未ダ希望ヲ貫徹スルニ至ラズ又三等郵便局全体ニ代金取立ヲ實行スルコト、ナラバ至極便利ノコト、信スルヲ以テ之ヲ本會議所ノ問題トス

議長 振替貯金并三等郵便局代金取立ニ關スル件

七番(相場直三郎君) 現行振替貯金規則ニ於テ拂込人ヨリ手数料ヲ徵收セラル、ハ振替貯金制ヲ普及セシムルニ頗ル不利ナリ就テハ之ヲ全廢セラレタク又三等郵便局ニ於テ盡ク代金取立ヲ扱ハザルハ甚ダ不便ナルヲ以テ此ノ二件ヲ本會議所ノ問題トシテ當局ニ建議セラレント望ム

三十二番(田中勝次郎君) 振替貯金ノ手数料ノ件ニ付テハ昨年四月名古屋ニ於テ開會セル聯合會ノ際問題トナリ既ニ當局ニ建議スル所アリタルモ未ダ希望ヲ貫徹スルニ至ラズ又三等郵便局全体ニ代金取立ヲ實行スルコト、ナラバ至極便利ノコト、信スルヲ以テ之ヲ本會議所ノ問題トス

議長 振替貯金并三等郵便局代金取立ニ關スル件

七番(相場直三郎君) 現行振替貯金規則ニ於テ拂込人ヨリ手数料ヲ徵收セラル、ハ振替貯金制ヲ普及セシムルニ頗ル不利ナリ就テハ之ヲ全廢セラレタク又三等郵便局ニ於テ盡ク代金取立ヲ扱ハザルハ甚ダ不便ナルヲ以テ此ノ二件ヲ本會議所ノ問題トシテ當局ニ建議セラレント望ム

三十二番(田中勝次郎君) 振替貯金ノ手数料ノ件ニ付テハ昨年四月名古屋ニ於テ開會セル聯合會ノ際問題トナリ既ニ當局ニ建議スル所アリタルモ未ダ希望ヲ貫徹スルニ至ラズ又三等郵便局全体ニ代金取立ヲ實行スルコト、ナラバ至極便利ノコト、信スルヲ以テ之ヲ本會議所ノ問題トス

議長 振替貯金并三等郵便局代金取立ニ關スル件

七番(相場直三郎君) 現行振替貯金規則ニ於テ拂込人ヨリ手数料ヲ徵收セラル、ハ振替貯金制ヲ普及セシムルニ頗ル不利ナリ就テハ之ヲ全廢セラレタク又三等郵便局ニ於テ盡ク代金取立ヲ扱ハザルハ甚ダ不便ナルヲ以テ此ノ二件ヲ本會議所ノ問題トシテ當局ニ建議セラレント望ム

三十二番(田中勝次郎君) 振替貯金ノ手数料ノ件ニ付テハ昨年四月名古屋ニ於テ開會セル聯合會ノ際問題トナリ既ニ當局ニ建議スル所アリタルモ未ダ希望ヲ貫徹スルニ至ラズ又三等郵便局全体ニ代金取立ヲ實行スルコト、ナラバ至極便利ノコト、信スルヲ以テ之ヲ本會議所ノ問題トス

議長 振替貯金并三等郵便局代金取立ニ關スル件

七番(相場直三郎君) 現行振替貯金規則ニ於テ拂込人ヨリ手数料ヲ徵收セラル、ハ振替貯金制ヲ普及セシムルニ頗ル不利ナリ就テハ之ヲ全廢セラレタク又三等郵便局ニ於テ盡ク代金取立ヲ扱ハザルハ甚ダ不便ナルヲ以テ此ノ二件ヲ本會議所ノ問題トシテ當局ニ建議セラレント望ム

三十二番(田中勝次郎君) 振替貯金ノ手数料ノ件ニ付テハ昨年四月名古屋ニ於テ開會セル聯合會ノ際問題トナリ既ニ當局ニ建議スル所アリタルモ未ダ希望ヲ貫徹スルニ至ラズ又三等郵便局全体ニ代金取立ヲ實行スルコト、ナラバ至極便利ノコト、信スルヲ以テ之ヲ本會議所ノ問題トス

議長 振替貯金并三等郵便局代金取立ニ關スル件

七番(相場直三郎君) 現行振替貯金規則ニ於テ拂込人ヨリ手数料ヲ徵收セラル、ハ振替貯金制ヲ普及セシムルニ頗ル不利ナリ就テハ之ヲ全廢セラレタク又三等郵便局ニ於テ盡ク代金取立ヲ扱ハザルハ甚ダ不便ナルヲ以テ此ノ二件ヲ本會議所ノ問題トシテ當局ニ建議セラレント望ム

三十二番(田中勝次郎君) 振替貯金ノ手数料ノ件ニ付テハ昨年四月名古屋ニ於テ開會セル聯合會ノ際問題トナリ既ニ當局ニ建議スル所アリタルモ未ダ希望ヲ貫徹スルニ至ラズ又三等郵便局全体ニ代金取立ヲ實行スルコト、ナラバ至極便利ノコト、信スルヲ以テ之ヲ本會議所ノ問題トス

議長 振替貯金并三等郵便局代金取立ニ關スル件

パナマ運河防備問題

前大統領ルーズベルト氏は過日チカサス州ダラス市に於て本問題に對し論議して曰く、パナマ運河問題は目下世の一大問題なりと雖も予は世界平和の爲め防備の必要を主張するものあり、抑もパナマ運河に關しては英國とパナマとの二個國の條約あるのみにして他の列國は本問題に對し決して容喙する權利あるものにあらず。米國はパナマの條約によりて軍事的防備を爲し得るの權利を保証せられたるものあり。又英國に對しては予が大統領たりし當時締結せる條約をれば其内容は予の最も能く熟知する所にして若し英國にしてパナマ運河に米國の築壘權を認めざるが如きものたらしめば予は其當時決して該條約の批准を上院に請求せざるべし。而してパナマ及英國の外運河に對し何等の條約をせざれば一朝或一國と戰端を開始する場合に當り敵は直ちに該運河を砲撃し又は占領するに至るや必せり。殊に該運河を中立たらしむべき協約も締結せざる今日世界各國は英國及パナマ國を除くの外法律上該運河を破壊し得べき無限の權能を有するものあり。云々

日米戰爭不能論

極東問題に精通せりと稱せらるる米國ジエンクス教授は日米開戰論の妄を論じ日米が戰端を開くやうな事のない理由として次の數項を擧げてある。一、日本は此の大戰爭には日露戰爭當時の同情を有する能はずして軍費を外國より借出すこと不能である。

庶務

本年二月中執行シタル事務左ノ如シ
收受文書 自第一九一號 百八十九件
發送文書 自第一八八號 三十九件
雜件 無記號ノ物 百七十一件
合計 三百七十一件

重要事項

- 一、和田直幸ヲ給仕トシ採用ス(二月一日)
- 一、東京市小石川區白山小町文明社へ文房具商ノ氏名ヲ回報ス(二月二日)
- 一、備中國撫川町難波周次郎方へ農表商ノ氏名ヲ回報ス(二月二日)
- 一、秋田商業會議所へワカサギ、小沙魚ノ價格及雜詰商ノ氏名ヲ回報ス(二月二日)
- 一、雜穀ノ裝束改良方法ヲ講スル爲メ委員會ヲ開ク(二月三日)
- 一、東京逓信管理局へ月報ヲ約束郵便トスル爲メ申込書ヲ提出ス(二月三日)
- 一、和蘭人アトノルド、サイス氏ヲ聘シ世界漫遊談會ヲ開催ス(二月七日)
- 一、議員半數改選及補缺選舉執行方ヲ栃木縣知事ニ申請ス(二月九日)
- 一、下野産業株式會社ノ囑託ヲ受ケ大坂市ニ於ケル子脈ノ在荷數及價格ヲ調査ス
- 一、東京逓信管理局へ約束郵便擔保ヲ提出ス(二月十五日)
- 一、穀商青木芳三郎外三十五名ヨリ營業稅課稅標準届出ニ關スル件ニ付陳情ニ接ス(二月廿日)
- 一、穀商ヨリ陳情ヲ受ケタル件ニ付田中齋藤兩副會頭本多市長ト同道關澤宇都宮稅務署長ヲ訪問ス(二月廿一日)
- 一、本年一月中ノ諸物價商品聚散狀況及金融ヲ調査ス

本年三月中執行シタル事務左ノ如シ
收受文書 自第三八〇號 二百一十一件
發送文書 自第五七號 十四件
雜件 無記號ノ物 百六十四件
合計 三百八十九件

(二) 又今は其擔保がたい
(三) 終局の勝利を博すべき陸海兵力を有さぬ
(四) 日本は清國の態度を慮らねばならぬ。何と云へば清國の兵力は次第に強大とあるから日本の疲弊に乗じて滿州及其鐵道を回收せんことを試みる恐れがある
(五) 露國の態度も慮らねばならぬ露國は今尙ほ朝鮮に絶念して居らぬからである
(六) 英國は日本が屢々滿洲に對する言質を破つたのを憚らず思ふて居るから米國と開戰する際果して日本を助けるか如何かは疑はしい
(七) 日本が大商國たるの志望を阻止するを免れぬ慮れもある

農村疲弊の病源

維新以來農事著く改良せられ生産力の増進を見たるに拘はらず却て農村の疲弊に陥りつゝあるに對し農學博士横井時敬氏は其大病源として左の如く列擧せり
一、動移を厭ふの風漸く加はりたること
一、奢侈の風漸く進みたること
一、社交上費の積累依然として存するのみならず是等の爲めに要する費用は益々増加の傾向にあること
一、農村を蝕毒する所のゴロの野蠻徒來は下層民に過ぎざりしは今は政界の落武者も中層以上のものも加りて羽織ゴロ、フロッコトゴロなど益々増加したること
一、會費、寄附金、強賣などの類も痛めらるること少からざること
一、教育費は村費を要すること少からざるのみならず教育の高きを競ふの弊殊に中層以上の村民に大なる費用を要するに至りたること
一、選舉費用などの益々増加すること
一、株券の買入、租稅、貯金其他の爲めに田舎の資本漸く都會に吸取せらるること

和蘭に於ける髮毛の需要

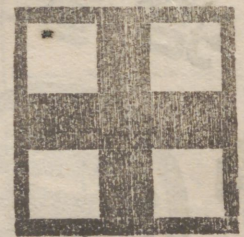
近時婦女の頭髮に入れ毛足し毛を爲すこと流行するに從ひ髮毛業は驚くべき繁盛を來し髮毛の貿易

は近來き盛況を呈しアメリカムスタルダムに於ける斯業者は注文に迫れば本品の需要は今や恰も吳服物其他日用品の需要の如く本品は各種の色に整理せられ各需要者の頭髮と同色せられあり價格は其種類からざるを以て之れを各別に記するを得ざるも其平均を求むれば工場渡に於て十二吋の長さを有するもの一封度一磅あり當地に輸入するものは黒色のものに在ては土耳其及地中海附近より來り其他清國よりも多額の輸入を爲せり髮毛は當國に輸入せられたる後工場に於て其絹を解き化學的の洗滌を爲し各世界より來りたる髮毛の原色を脱却して需要者の嗜好に投すべき各種の色に整理するにあり其他頭髮用髮毛には獸類の毛を代用せらる本品は重に西蔵より出るものにして中央亞細亞に存在する牛の頭及足等の内部の毛にして此目的に供する爲めに之れを切取るなり
往時は歐羅巴に於ける農家の女子の頭髮を需要せられたるも需要の増加に伴ひ價格非常に騰貴したるのみならず供給充分ならざりしが爲め以上の如く歐洲以外より輸入するに至りたり

滿洲に於ける有望の事業

硝子製造業 此は大連旅順に互る約十七八里間は悉く其原料地と言つてもよい。目下は大連に最も不完全な製造所が一つあるのみである。支那人は今尙ほ石油を用ふる者少く多くは豆油を用ふるに居るが、將來石油需用者の増加するに至るべきは必然の勢である。石油を用ふればランプを使用するに至るのは勿論だ。且つ支那の家屋の構造は將來必ず硝子板を使用せねばならぬやうに設備されてあるから今後硝子の需要は大に膨脹することであらう
豆油原料の製造業 豆油は其原料が至つて豊富であるから之を原料とする製造業たとへば石鹼製造所の如きは最も有望である

登録商標



明保野 新部 幸吉 電話 三六四番

- 重要事項
- 一、米穀検査ニ關スル陳情ノ件、商業會議所聯合會出席ニ關スル件、商品陳列會開催ニ付市へ建議ノ件、下館眞岡間輕便鐵道敷設セラル、ニ付協議ノ件ニ關シ役員會ヲ開ク(三月一日)
 - 一、四日市肥料業者及運送業者ヲ引希望ノ旨ヲテ來所セラレシニ付市内當業者ニ紹介ス(三月二日)
 - 一、宇都宮眞岡間輕便鐵道敷設ニ關スル件ニ付協議會ヲ開ク(三月十一日)
 - 一、穀商ノ營業稅課稅標準届ニ關スル件ニ付上野會頭宇都宮稅務署長ヲ訪問ス(三月廿四日)
 - 一、付宇都宮菓子商組合主催栃木縣菓子品評會開會ニ付キ全上
 - 一、本市二月中諸物價、商品聚散狀況及金融ヲ調査ス

活版印刷 寫真版刷
三共社
角前察警市宮都宇
番五十六百三話電

輕便洋食 壹品十三後均
矢嘯のルホヤーゴ下縣
三笠軒
番九三六話電町師曲市宮都宇
すまりあ堂食き好包眺

て芳香佳味且つ
 廉價なり江湖の
 諸君奮て御試用
 あらん事を乞ふ



菊の友は原料を
 精選し學理を應
 用し最も斬新な
 る醸造方法にし

關澤商店陳列館

- ▲宇都宮市の中央二荒山神社の坂下ゆへ土産物御求は至極御便利であり升
- ▲獨立の勸工場にて市中無類第一の廉價正札附に致してあり升
- ▲流行品は他店に魁くるは申す迄もなく花客様にて御承知の筈であり升
- ▲品が善くて直が安く有る品はゆる品は取揃てありす



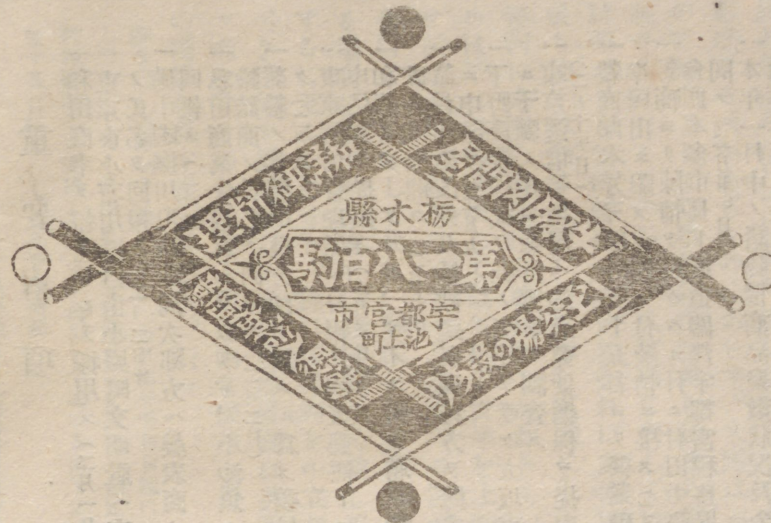
宇都宮市川向町
 下野倉庫株式會社

委託販賣、貨物貸附金

電話 一四八番

貨物、保管、荷爲替取組

和洋御料理及天麩羅原
 は元濱方と特約日々新
 のものを選み直輸入風味
 と衛生を重んじ御手輕と
 迅速は最も第一の特色



番七百六 番二百二 話電

牛肉の原料は有名なる神
 戸米澤豚肉は海外より特
 種の者を選び品質精良價
 格低廉衛生經濟富國強兵
 に缺る日常食品の親玉

寶積寺銀行宇都宮支店
 諸貸附割引爲替代金取立確實ヲ旨トシ精々御便利ニ取扱申候
 電話三五番 電略(ホウ)

宇都宮市宿郷町三番地
 電話二〇七番
 支店東京府北千住中組五八五番地
 電話下谷一八三番

天肥料
 各種肥料
 宇都宮市上河原町
 電話二二三番
 電話(テツカ)又ハ(テ)

營業種目

藥品 賣藥 醫療器械
理化 學 器械
寫真 器械 附屬一式
コンデンスミル 特約店

宇都宮市馬場町
木村 作次郎
電話 一七番
日光中鉢石町
木村 支店
電話 百十一番

●海陸産肥料各種
●入山石炭各驛一手販賣
●好間石炭各驛一手販賣
●無煙炭各種大販賣

宇都宮市石町
針屋 村上濱吉
電話 三三番

和紙卸高上油屋紙店
洋紙卸高上油屋紙店
宇都宮市千手町
相場直三郎
電話 四〇番

和紙・土佐、駿河、石見、美作等産紙ノハ悉ク今世直輸入ニ付中地タル東京若クハ大坂ノ手ヲカラ
ス故ニ兩都ノ相場ニ相勉メ可申候。洋紙モ舶來紙ヲ始メ内地各製造會社ノ撰定ニ係ルモノ一切取揃有
之候ニ付和洋共出精販賣可仕候間御用命奉願ト候

諸建築木材供給受負

諸木材 廉價販賣

諸建築工事請負業

業務擴張ノ爲メ從來ノ建具類賣場狹隘ヲ感シ肴町通ニ移轉仕候條
陸續御用命奉願候

宇都宮市日野町
半都賀屋木材店
篠崎安平
電話 一三八番

大谷石材販賣

宇都宮市川向町停車場前
大谷石商會

本 石材 坂本 仲
問屋 (電話四〇八番)

光力電燈より光強し

アセチリン瓦斯 石油ニ優
ル事百倍
并光料カーバイト 危険ノ虞
其他機具一式 毫モナシ
御注文ニ應ジ取付其他点燈迄一切請負可申候御
一報次第店員出張萬事御協議可申候

肥料 麻 苧
藍 眞 繩

宇都宮市本郷町廿八番地
商號久喜屋

福田恒吉

電話 三〇六番
電略 クキヤ又一キ

四十四年度の營業稅

本誌第九十三號に於て稅法改正の結果宇都宮市の
四十四年度の營業稅は前年度に比し五千二百餘圓
を減すべき計算を述べたるが此程決定せら
れたる所に依れば本年度の營業稅は七万四千五百
二圓九十錢にして前年度に比し三千三百五十六圓
四十四錢の減少を示し吾人の豫想より減額の少
きこと千八百四十七圓餘あり左に既往五ヶ年の營
業稅及本年度百圓以上の納稅者を示さん

年 度	稅 金	人 員
四十年 度	六八、八〇、〇〇〇	一、八七〇
四十一年 度	八三、九三六、九六〇	二、一八一
四十二年 度	九八、八五、九四〇	二、三三三
四十三年 度	七七、八九六、九六〇	一、六一八
四十四年 度	七四、五四〇、〇二〇	一、六五一

▲百圓以上ノ納稅者

二二四、二一〇	池上町	松井彦五郎
二二九、〇〇〇	全	鳥海勘二
一八六、五二〇	全	竹石太平
一三四、四〇〇	全	栗田辰五郎
一〇一、四〇〇	全	荒川仁平
四、六九、五三〇	全	株式 栃木縣農工銀行
一三五、五〇〇	全	篠原三之助
一〇三、〇〇〇	全	榎本ハメ
一八三、七三〇	全	株式會社 宮見番
一〇五、九〇〇	全	永井万吉
一一五、〇一〇	全	宇都宮製油合名會社
一八三、七〇〇	全	今小路町
一四九、二五〇	全	河合長藏
一一五、七八〇	全	株式 宇都宮海陸物產委託買賣
一一一、五〇〇	全	浪内ノブ
四一七、八七〇	全	馬場町
一一八、四〇〇	全	博勞町
二二九、一六〇	全	西原町

一一一、三九〇	全	藤沼真次
三二六、七四〇	全	本郷町
一七六、八五〇	全	上野房之助
二一九、三〇〇	全	田野キク
三五一、三〇〇	全	福田恒吉
一〇五、〇四〇	全	上時松次郎
一二三、四五〇	全	株式 宇都宮青物市場
二六九、五〇〇	全	蓬萊町
一〇九、〇二〇	全	大町
四八五、〇〇〇	全	荒川藤吉
一〇〇、四〇〇	全	増淵トク
一一一、五三〇	全	瀧澤佐市
一一三、三七〇	全	市原寅藏
一一五、二〇〇	全	増淵又八郎
一二〇、五〇〇	全	増淵安之助
一、七七三、六四〇	全	尾上町
二二四、一五〇	全	下野電力株式會社
一一六、九〇〇	全	吉田權八
二二九、四六〇	全	太城源八
一六八、六〇〇	全	篠原伊之吉
一九八、四〇〇	全	齋藤欣多
一一〇、二〇〇	全	坂本仲
一三二、五〇〇	全	伊藤芳次郎
一〇八、五〇〇	全	青木芳三郎
五二五、四八〇	全	川向町
一一七、五〇〇	全	下野倉庫株式會社
一一二、〇〇〇	全	宇都宮通運合名會社
一七二、四〇〇	全	坂本八郎
一二四、六四〇	全	上河原
一五七、六〇〇	全	大森勝之助
三四三、八〇〇	全	浅野松藏
一六四、八〇〇	全	手塚豊吉
一七三、五一〇	全	小林奎三郎
二七〇、七八〇	全	傳馬町

一一二、二〇〇	鐵砲町	菊地嘉助
一一二、二三九	材木町	河合儀八
一一五、二七〇	寺町	株式會社 家滿商店
二二三、七〇〇	相生町	稻子喜七
一五九、九〇〇	全	齋藤金次郎
一〇五九、三四〇	材木町	宇都宮石材軌道株式會社
一二六、九五〇	清住所	猪俣藤吉
二二九、七三〇	全	桑川長次郎
一五七、五〇〇	全	大宮慶次郎
一二七、〇〇〇	全	馬場内住三郎
四一四、一三〇	全	宮島町
一一二、九〇〇	全	馬場太兵衛
一〇七、五〇〇	全	馬場タツ
一一一、〇〇〇	全	峯岸福三郎
二二八、四〇〇	全	小玉雅夫
三三八、五〇〇	全	笠間重藏
二二六、三〇〇	全	村山金平
一一二、六〇〇	全	古口勇次郎
一三八、五〇〇	全	古口文吉
六、二五一、七八〇	全	株式會社 下野銀行
五三〇、二一〇	全	株式 宇都宮貯蓄銀行
一一二、二〇〇	全	中河原町
四〇六、五〇〇	全	曲師町
一一四、六五〇	全	小野七藏
一四七、二五〇	全	土屋芳藏
一〇九、一三〇	全	八木澤專吉
一一八、四〇〇	全	松峯町
一一一、〇六〇	全	石町
一二七、一九〇	全	小傳馬町
一〇〇、八〇〇	全	宿郷町
一一八、一七〇	全	岡田熊藏
一、一六六、一九〇	全	篠原久兵衛
一〇〇、二四〇	全	下野製紙株式會社
	全	福田定兵衛

(以下裏面に續く)

發行兼編輯人 義興
印刷所 宇都宮市旭町一丁目
宇都宮一條町七番地
印刷所 三共社印刷所

